

高校生 ICT カンファレンス 2018 長野大会報告書

1 日時・場所

2018 年 9 月 27 日（土） 明科公民館

2 目的

他校生徒との議論や交流を通し、協働力を身につけ、まとめや発表により表現力と発信力を向上させる。

3 概要

本大会は「18 才成人化を控え、大人としての権利行使と責任発生の両面について議論する中で、次世代を担う高校生自らが高度に I T 化された社会で活躍するために、どのようなことに注意を払い、どのような能力を身に付けていく必要があるかについて、高校生等に発信する」という目標で実施された。参加者はグループ熟議を通し、様々な課題について議論し、まとめを行い、参加校ごとに、社会で活躍するための I C T 活用法について、提言発表を行った。

4 当日の様子

第一部 参加校発表（各学校 2 分）

事前に与えられた課題「社会で活躍するための I C T 活用法～18 歳成人化を控えて～」について大会前日までに議論しまとめ（図 1）、それを大会当日の冒頭で発表した（図 2）。



図 1 事前課題に取り組む生徒



図 2 事前課題について発表している本校生徒

第二部 事業者講演

N T T ドコモ C S R 部長山口幸夫氏による講演

第三部 グループ熟議

自己紹介・アイスブレイク

議論Ⅰ 「子どもと大人(成人)の違いとは何か？」

議論Ⅱ 「大人として社会で活躍するとは？」

議論Ⅲ 「社会で活躍するための I C T 活用法は？」

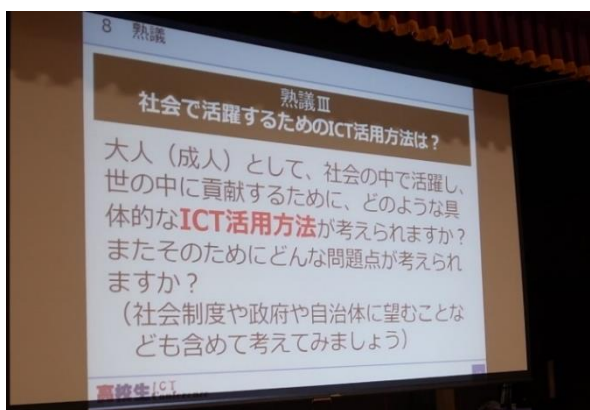


図3 熟議Ⅲの際に与えられた課題

参加生徒はA～Hのグループに分かれ、与えられたテーマⅠ～Ⅲについて議論を行った。まず、各自が考えたことを付箋に書き、説明し模造紙に貼っていく作業を行った（図4）。続いてそれをグルーピングするなど、さらに深めていった（図5）。議論Ⅲではグループの代表者がテーブルに残り、まとめた内容を発表した（図6）。他のメンバーはグループA～Hのテーブルを自由に周り、発表を聞き質疑を行うなどした（図7）。新たなアイデアや意見をグループに持ちかえり共有した。



図4 考えを付箋で貼りながら説明している様子

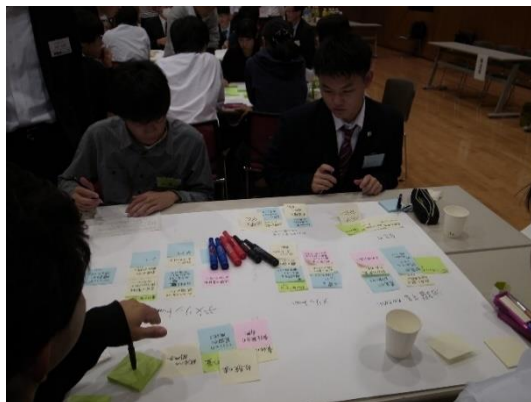


図5 他校の生徒と議論し考えをまとめている様子



図6 グループ代表として説明を行う本校生徒



図7 質疑の様子

第四部 各学校のまとめ・発表（各学校4分）

熟議により得られた視点や経験を活かしながら、各高校ごと発表準備（発表資料作成、発表練習）を行った（図8）。発表会では模造紙にまとめたものを画像化したものをスクリーンに映し、口頭発表を行った（図9）。



図8 情報を共有し整理する本校生徒

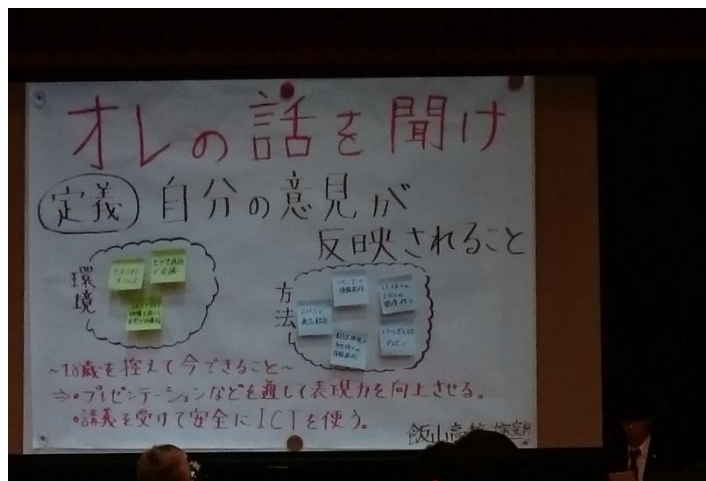


図9 本校生徒の発表

5 引率者感想

グループ熟議では様々な学校の生徒としかも全員が初対面という状況でありながらも活発な議論が行われていた。生徒感想にも非常に楽しかったとあるように、生徒は楽しみながら取り組むことができた。本大会を参考にし、今後本校で取り組みそうな活動を以下に記載する。

1. 質問力の育成

各グループがまとめたものを見る際に、多くの質問がなされていたがその内容は簡単なものも多くあった。どんな簡単なことでも良いので質問することが大事であると感じた。質問する姿勢を養成することで言語活動を活発化するだけでなく、質疑応答の活発化は発表者にとっても考える力や応答力を身につけることにつながると考えられる。

2. 発表手法の工夫

発表会では模造紙にまとめたものをタブレットで写真撮影し、それをスクリーンに映して発表を行った。この手法により人数が多くても全体で共有することができるだけでなく、伝えたい部分を拡大して示すこともできるため、より効果的な発表が実現していた。